

日本素材物性学会誌投稿原稿 1 段組みフォーマット

投稿記事の表題 MS ゴシック 14 ポイント

著者名 1, 秋田手形 1, 日本素材 2, MS 明朝 10pt

English Title by Times New Roman 10pt Bold

English Author1, Tegata Akita¹, Sozai Nihon²

1 著者所属, 〒住所, MS 明朝 10pt

English Affiliation, Times New Roman 10pt

2 著者所属, 所属会社開発部, MS 明朝 10pt

English Affiliation, Times New Roman 10pt

E-mail address of corresponding Authors

English abstract about 150 words should be provided. The abstract should be a standalone summary of the paper, including the background, purpose, approach, results, and conclusions. aa

Aaaa

Keyword: sabcde, efghhijk, lmnopq, rstu, xvywz 英文でキーワードを 5 ～ 8 語、記載する。

1 緒 言

本文の見出しはMS ゴシック 10pt、それ以外はMS 明朝 10pt で記載。 本研究の背景と目的などについて、ここで説明する。参考文献は、該当する文末に記載する[1]、[2-10]。論文は6 ページ以内とする。6 ページを超える場合は、定められた追加料金を支払う。

2 実験方法

2.1 材料の準備

2.1.1 原材料

小見出しを使用できる。

2.1.2 物質合成法

2.1.2.1 のようなより深い小見出しも使用できる。

2.2 解析手法

数式は、MS WORD に組み込まれた数式作成ツールを使用。 式には、次のように連番を付ける必要あり。

$$\sin \alpha \pm \sin \beta = 2 \sin \frac{1}{2}(\alpha \pm \beta) \cos \frac{1}{2}(\alpha \mp \beta) \quad (1)$$

$$f(x) = a_0 + \sum_{n=1}^{\infty} \left(a_n \cos \frac{n\pi x}{L} + b_n \sin \frac{n\pi x}{L} \right) \quad (2)$$

3. 実験結果と考察

3.1 表の書き方

表は、英語で作成し、該当する本文の近くに挿入する。上下に適切なスペースを設けて見やすくし、説明文は英語で、表の上部中央に記載する。すべての表には、Table 1, Table 2, ・ ・ などと順番に番号を付け

日本素材物性学会誌投稿原稿 1 段組みフォーマット

る。表は、その内容が説明されている文書にできるだけ近づけて配置する。本文中で引用するときは、省略形ではなく、「Table 1」とする。

Table 1. Example of table format.

Sample	Mass (g)	Diameter (mm)	Thickness (mm)
A	1.25	10.2	2.46
B	2.46	15.4	3.69

3.2 図の書き方

図は、英文で作成する。すべての図には、Figure 1, Figure 2,・・・などと順番に番号を付け、英文でキャプション（説明文）を付ける。キャプションは図面の下に書くこと。図は本文中に埋め込み、原稿の最後にグループ化することは避ける。すべての図は、その内容が説明されている文書にできるだけ近づけて配置する。本文中で引用するときは、「Fig.1」のような省略形ではなく、「Figure 1」とする。例えば、「電池Aの時間と起電力の関係をFigure 1に示す。」とする。標準的な、図面の大きさは幅100mmであるが、自由に設定できる。

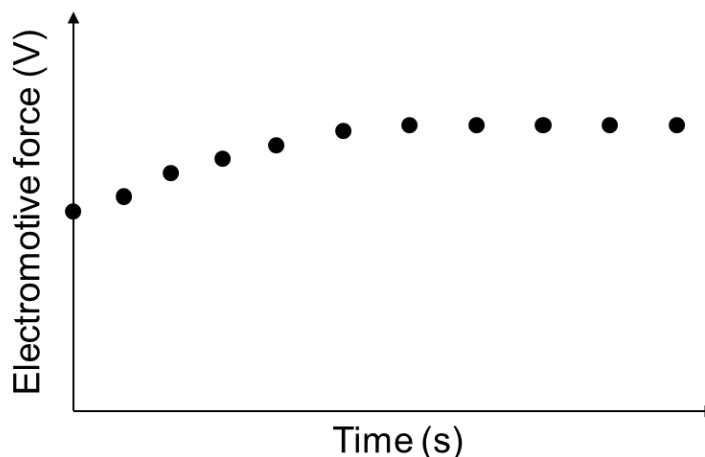


Figure 1. Example of figure showing the relationship between time and electromotive force for battery A.

4. まとめ(結言)

研究で得られた結果をここでまとめる。

謝 辞

謝辞はオプションである。ただし、外部資金による研究の場合は、ここに記載する。

参考文献

- [1] I. Y. Solodov: Ultrasonics of non-linear contacts: propagation, reflection and NDE-applications, *Ultrasonics*, Vol. **36**, 383-390 (1998)
- [2] M. Fukuda and K. Imano: A novel double-layered piezo-electric transducer for detecting second harmonic ultra-sonic pulse waves, *Int. J. Soc. Mater. Eng. Resour.*, Vol. **17**, No. 1, pp. 73-77 (2010)
- [3] 今野和彦, 石塚直樹: “超音波計測時の固体接触部からの高調波発生に関する実験的検討”, 素材物性学雑誌, vol. 24, no. 1/2, pp. 13-19 (2012)